

## シンポジウム「外国人技能実習生の受入れを巡る現状と課題」

### 1. 趣旨

高齢化・人口減少の下、外国人技能実習生の導入が急増している。いくつかの産業部門では彼らの存在なしには成り立たないような状況が生まれている一方、送出し国側の経済成長に伴い、技能実習生の確保を巡って複雑な問題も生じ始めている。

本シンポジウムの目的は、そうした産業部門の典型として農業に焦点を当て、最新の現状について情報を共有するとともに、議論を通じて課題に対する認識を深めることにある。現実の問題に直面している農家の方からだけでなく、農業という産業部門を相対化しつつ、全体の動向のなかに位置づけるため、製造業の実情についても報告をお願いした。農業労働力問題の専門家からもコメントをいただき、実りのある総合討論となることを期待している。

### 2. 日時・場所

日時：2017年3月30日（木）13：00～17：30（受付開始12：30～）

場所：東京大学農学部弥生講堂アネックス（地下鉄南北線東大前駅下車・徒歩3分）

農学部正門を入ってすぐ左手の建物です。

### 3. 報告内容とタイムスケジュール（報告タイトルはいずれも仮題です）

- 13：00～13：05 開会挨拶：堀口健治（早稲田大学名誉教授）
- 13：05～13：15 趣旨説明：安藤光義（東京大学）
- 13：15～13：45 日本農業における技能実習生の位置・役割とさらなる展開：  
堀口健治（早稲田大学名誉教授）
- 13：45～14：15 送出しの制約に直面し始めた中国：大島一二（桃山学院大学）
- 14：15～14：30 急増するベトナム人：長谷川量平（鯉淵学園）
- 14：30～14：45 ベトナム人農業実習生受入れの実際：軍司聖詞（早稲田大学）
- 14：45～15：00 高冷地野菜地帯の展開と8ヵ月実習生—長野県南牧村に見る—：  
井出澤誠（長野県南牧村・農業生産者）
- 15：00～15：30 製造業における技能実習生雇用の変化  
—中小企業から大企業への展開—：上林千恵子（法政大学）
- 15：30～15：45 休憩
- 15：45～16：00 コメント：松久勉（農林水産政策研究所）
- 16：00～17：30 総合討論（司会：安藤光義）

### 4. 問い合わせ先

東京大学大学院農学生命科学研究科・農政学研究室 安藤光義

TEL&FAX：03-5841-5322 E-mail：ando@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

本シンポジウムはサントリー文化財団の後援を得て、東京大学と早稲田大学が共同で開催するものです。参加費は無料です。事前登録の必要もありません。

ご関心のある多くの皆さま方の参加をお待ちしています。